

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年11月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2871500332		
法人名	医療法人 いちえ会		
事業所名	グループホームいちごの家・加茂		
所在地	洲本市桑間松ヶ本492 (電話) 0799-26-1001		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通2-1-18		
訪問調査日	平成20年9月29日	評価確定日	平成20年11月17日

【情報提供票より】(平成20年8月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 12人, 非常勤 6人, 常勤換算	15.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	17,400 円	その他の経費(月額)	19,500 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(8月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	7 名	要介護2	8 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.6 歳	最低	77 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	洲本伊月病院
---------	--------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは洲本市の市街地にあり、洲本インターから近く交通の便も良い。同一法人の病院・介護老人保健施設等が隣接して一角を形成している。看護師が常勤しており、医療連携体制を取っていると共に隣接して法人の病院があるので、医療面で協力が得やすく利用者・家族にとって心強い。「自分で出来ることは出来るだけ本人にしてみよう」というケア方針で、職員が介護し過ぎることのないよう花の水やり・調理の手伝い等の役割・楽しみごとを通して張り合いのある生活が送れるよう支援している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 前回の第三者評価の課題であった「災害対策」では、併設事業所との合同訓練以外にホーム独自で毎月訓練を実施し、運営推進会議でも地域の人達に協力の依頼を呼びかけた。他の課題についても引き続き改善に取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 今回の自己評価にあたっては計画作成担当者がまとめ役になり、管理者・看護師・職員等全員で話し合った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) ホーム独自に「運営推進会議規則」を作り、議事録の公表等を定めている。ホームの運営状況や評価結果等を話し合い、要望・意見・助言等をサービスの向上に活かしている。しかし、利用者本人が参加していないので利用者にも積極的に参加を呼びかけ、また運営推進会議でも優先順位を話し合い、その項目から順次評価を受けることが望まれる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 運営推進会議には全家族に出席を呼びかけ、3ヵ月に1回家族を招いて食事を開催している。出された意見等はホームの職員で話し合い、設備等事例によっては上部組織と相談し、改善に向け取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 祭り等の地域の行事に参加し、併設事業所と合同で行う行事に地域の人に参加する等、地域住民との交流をはかっている。引き続き自治会・老人会等への加入を働きかけると共に、子供見守り隊(子供駆け込み寺等)や地域の清掃活動への参加等、地域で必要とされる活動や役割を担うことが期待される。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は「一期一会の心を持って医療、介護、福祉活動を行い、地域社会に貢献する」という法人のものを継承しているが、ホームとして地域密着型サービスの役割を反映させた「安心と尊厳・自己啓発と研鑽・地域との協働」を事業所独自の行動目標に掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	名札の裏に理念を記載し、また職員詰所前に行動目標を掲示している。毎朝申し送り時に理念を唱和し、カンファレンスや勉強会で理念の内容について話し合っている。利用者と接する時には笑顔と傾聴を心がけ、声かけや態度に理念が反映されるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には加入していないが、まつり等の地域の行事に参加し、老人保健施設等併設事業所と合同で行う行事に地域の人に参加する等、地域住民との交流を図っている。散歩時は挨拶を心がけており、畑仕事をしている人から野菜をいただくことがある。		引き続き自治会・老人会等への加入を働きかけ、行事の打ち合わせに子供たちも参加していることを機会に、子供見守り隊(子供駆け込み寺等)や地域の清掃活動への参加等、共に暮らす地域住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担うことが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価にあたっては計画作成担当者がまとめ役になり、管理者・看護師・職員等全員で話し合った。前回の第三者評価での課題であった「災害対策」では、併設事業所との合同訓練以外にホーム独自で毎月訓練を実施し、他の課題についても引き続き改善に取り組んでいる。評価結果を運営推進会議で報告し、全家族に評価結果を他のグループホームの評価結果の検索方法を添えて郵送した。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホーム独自に「運営推進会議規則」を作り、議事録の公表等を定めている。地域住民の代表として町内会長、洲本市の担当課職員及び地域包括支援センター職員をはじめ、参加を希望する全ての家族がメンバーとなり、19年度は6回開催した。ホームの運営状況や評価結果等を話し合い、要望・意見、助言等をサービス向上に活かしている。家族からは、第三者評価を受審することで家族も安心できるという声が出た。</p>		<p>利用者本人が参加していないので、幅広い立場の人が参加する会議とするため、利用者にも積極的に参加を呼びかけ、改善課題を話し合ったり地域の人の理解と支援を得るための会議とすることが望まれる。また、運営推進会議でも内容の優先順位を話し合い、その項目から順次評価を受けることが望まれる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>広報誌「いちごはうす」や運営推進会議議事録を市の担当者へ持参し情報提供を行うと共に、ホームの課題解決のための質問、相談等で協力依頼を行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らしぶり、健康状態等を家族訪問時や電話で随時知らせると共に、食事形態の変更等については家族と相談している。預かり金については、基本的には月1回家族訪問時に領収書を添えて、収支内容を確認してもらっている。「いちごはうす」を定期的に送り、暮らしぶりや行事案内を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議には全家族に出席を呼びかけ、参加された家族は同じテーブルにして、意見等を気軽に言ってもらえる雰囲気作りに努めている。また、3ヵ月に1回家族を招いて食事会を開催している。出された意見等はホームの職員で話し合い、設備等事例によっては上部組織と相談し、改善に向け取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内他事業所との異動は行っていない。夜勤時間帯で利用者の動揺がおこる場合があるので、ユニット間で1週間単位の交代勤務体制とし、全員での担当制を敷いている。離職等でやむを得ず担当を代わる時は、利用者へのダメージを防ぐために挨拶・紹介を必ず行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月2回隣接の法人事業所と合同で内部研修を定期的に行っている。「認知症介護実践者研修」をはじめ、「計画作成担当者研修」等職員のスキルとホームの必要性に応じた外部研修を受けている。研修受講費用は法人負担とし、事前に勤務調整する等、法人内外の研修を受ける機会の確保に努めている。研修受講者は受講後レポートの作成と勉強会での発表が義務付けられている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の「宅老所・グループホーム・グループハウス連絡会」や洲本市の「ケアマネジャー連絡会」に加入している。そこでグループホーム事業者との交流、情報交換、研修会参加等を行い、また市内グループホームの見学を通じてサービスの向上に取り組んでいる。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に自宅や施設を訪問し、利用者の生活歴や習慣等を関係者から聞き取り、ホームでの生活に馴染めるか話し合っている。その後、ホームの見学、デイサービスの体験利用、場合によってはショートステイの利用も可能であるので、雰囲気に徐徐に馴染めるよう取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は日々の暮らしの中で利用者の「できること」・「できないこと」を見極め、「介護する」・「介護される」という関係でなく、障子の張替え方法や花の管理方法等を利用者から学ぶ等、共に支えあう関係を築いている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者がテレビを見ているときや日頃の職員や利用者同士の会話の中から、一人ひとりの思いや意向を把握し、記録に残して情報を共有している。意志の疎通が難しい利用者には「じっと玄関で座っている」等の利用者の行動・状況の原因を職員の思い込みや決めつけでなく、職員で話し合って利用者の思いや意向の把握に努めている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の多くの情報を収集分析してアセスメント(課題分析)を行っている。そこで得られた情報をもとに利用者・家族と話し合い、時には看護師・リハビリ関係者・主治医等とも相談し、概ね6ヵ月毎に「生活援助計画」を作成している。		「生活援助計画」に利用者・家族の希望、意向を反映させた課題や目標の設定が望まれる。引き続き利用者・家族等とよく話し合い、利用者本位の計画作りが期待される。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間毎は勿論、利用者の状況に変化が生じた時は、毎日の申し送り、随時ミーティング、月1回のカンファレンス等で話し合い、実情に即したものに見直している。話し合った支援内容は記録として残し、情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	年1回日帰り旅行を実施し、利用者の楽しみとなっている。墓参りや市役所への申請等の付き添い送迎等の支援も行っている。看護師を常勤職員として配置して、医療連携体制を活用することにより、利用者が医療処置を受けながらホームでの生活を継続できるよう支援している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用前からの馴染みの医師をかかりつけ医としている人も多く、また隣接の法人病院の医師をかかりつけ医としている人もおり、緊急時以外はかかりつけ医で医療を受けている。近隣の眼科医・歯科医等との連携も取れており、基本的に通院介助を行っているので、いつでも適切な医療が受けられる。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医療連携体制加算届け出時に、利用者・家族にホームの対応指針を説明し、同意を得ている。かかりつけ医と定期的に相談しながら、併設の老人保健施設や病院等への転・退居までのケアを行っている。</p>		<p>できるだけ早い時期に利用者・家族の希望、意向を聞き取り、希望や意向またホームの対応方針が変化した時には、かかりつけ医や関係者と繰り返し話し合い、その内容を記録として残しておくことが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日々の利用者との関わりの中で、「だめ」等の否定的な言葉を避け、トイレ誘導時はその人にだけ分かる声かけや肩を少したたく等の動作で知らせている。「たより」等の写真は掲載の都度事前に本人・家族の了解を得ている。個人情報記載されている記録類は、職員詰め所の鍵のかかるロッカーに保管している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事の時間は基本的な決まりはあるものの、利用者の希望に沿って食事ができるように、時間帯を広く設け、希望等によっては居室でも食事ができるよう、その人の生活習慣を尊重している。利用者が何もしたくない時は様子を見ながら声かけを行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
	22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>			
	23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者が希望すれば毎日でも、また夕食後の入浴を好む人は19時30分までは好きな時間に入浴できるよう支援している。お湯の温度や量も希望に合わせて、利用者毎にお湯を入れ変える等個別の入浴支援を行っている。また、入浴を嫌がる人には夫々の理由に応じた対応を行っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
	24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>家族からの聞き取りや、利用者の日々の暮らしの中から一人ひとり楽しみごと等を把握し、花の水やり・洗濯物干し等を役割・楽しみごととしている。また、月1回ボランティアによる書道教室・音楽療法に興味ある人が参加している。新聞を2紙購読しているので、読むことを日課としている人もおり、利用者が日々の生活に張り合いや喜びを持てるよう支援している。</p>		
	25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望・状態、天候等の状況に応じて散歩、買い物、外食等外出を楽しめるよう支援している。玄関前にベンチが置いてあり、そこで利用者は外気を楽しんでいる。歩行が難しい人には、車イスでの買い物等の外出を支援している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援						
	26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室は利用者が望まない限り鍵をかけていない。エレベーターは自由に利用できる。玄関の鍵は以前は開錠していたが、駐車場前の道路の車の通行量が多くなり、周辺には水路が多く町内会から注意を呼びかけられているので、職員配置に余裕が出る午前と午後夫々1時間程度開錠している。</p>		<p>引き続き鍵をかけないケアの取り組みについて、職員全員で話し合いの機会を持ち続けることが望まれる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災・地震・水害・落雷等災害時対応マニュアルを作成し、緊急連絡網を職員詰め所に掲示している。年2回隣接法人事業所と合同で煙を使った訓練を実施しているが、ホーム独自で月1回訓練を実施し、避難誘導の方法を会得している。運営推進会議でも地域の人々に協力依頼を呼びかけ、併設事業所と共同で水・乾パン・レトルト食品等を備蓄している。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量については全利用者、水分量については看護師等の指示のある人や職員が見て少ないと思う人について概ねの量を把握している。水分については、1日1300～1500ccを目標に定時の他、入浴後や外出後にコーヒー・牛乳等好みのもので補給している。栄養バランス等については、併設介護老人保健施設の管理栄養士が専門的な立場からチェックしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関周りには鉢植えの季節の花々、玄関には毬栗やメダカの水槽、リビングには押し絵や絵画などがさりげなく飾られ、季節感のあるものをうまく活かしている。食堂付近からは野菜を切る音、食欲をそそる匂い、利用者と職員が談笑する声等、生活感があふれている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真・位牌・表彰状等利用者の馴染みのものや大切にしているものを持ち込んでいる人もいるが、テレビ・机等のみで使い慣れたものや好みのものが少ない居室となっている人もいる。</p>		<p>引き続き利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを持ち込んでもらい、居心地よく暮らせる居室となる取り組みを今後も進めていくことが期待される。ホームとして、利用者の作品を並べたり行事の写真を掲示してみてもどうか。</p>

 は、重点項目。